



# つながり、ひろがる社会の仕組み

-徳島県上勝町におけるゼロ・ウェイストの実践例-



一般社団法人amu

代表理事 東 輝実



# 徳島県上勝町

かみかつ



〈 位 置 〉 羽田空港から徳島阿波おどり空港まで飛行機で55分  
空港より車で約 1 時間30分程

〈 人 口 〉 1,305人 706世帯 (R7.9.1)  
高齢化比率 53.13%

〈 総面積 〉 109.68km<sup>2</sup>  
88.3%が山林、内80%が杉等の人工林  
平地は1.8%

〈 産 業 〉 農業、林業

# 上勝町を支えてきた二つの柱



葉っぱビジネス  
「いろどり」



日本ではじめて  
ゼロ・ウェイスト宣言をした町



# ゼロ・ウェイストとは

廃棄物の発生防止、削減、再利用、リサイクルを推進し、焼却や埋立処分される廃棄物をゼロにすることを目指す。



# ゼロ・ウェイスト コミュニティ 20年の歩み

上勝町は1997年に9品目分別システムを導入したのち、2001年までに分別品目は急速に35品目まで拡大。

現在では13品目43種類の分別を行い、徹底的したリサイクルシステムの確立を果たした。

日本初のゼロ・ウェイストを宣言した町である上勝町は、持続可能性、地域参加、文化保存を通じた地方創生のモデルケースとなった。



A Small Town Attracting Global Attention





1999年まで行われていた当時の野焼きの様子



# 20年間のプロセス



## ~1997: 野焼き

廃棄物処理の主要な手段としての野焼き処理



## 1998: 小型焼却炉の導入

小型焼却炉2基を設置  
→ダイオキシン類対策特別措置法の公布により2年で廃炉



## 2001: 焼却炉の廃炉と分別開始

小型焼却炉の廃止  
廃棄物の35種類への分別を開始



## 2003: ゼロ・ウェイストを宣言

町議会にてゼロ・ウェイスト宣言を採択



1993: 全世帯を対象とした家庭ごみ調査 全世帯を対象とした家庭ごみ調査



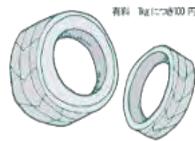
2002: 環境監視委員会「ゴミレンジャー」が発足：不法投棄ゴミのパトロールと住民への分別指導を実施



**2016:** 45分別開始

**2020:** 上勝町ゼロ・ウェイストセンター開設

## 廃タイヤ



## アルミ缶



## シュレッダーくず



## スチール缶



## スプレー缶



## その他のプラスチック



## その他の布類



## その他の紙



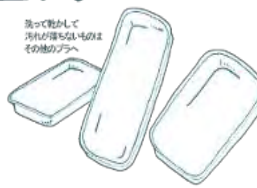
## その他の色びん



## 陶磁器類



## 白トレイ



## 段ボール



## 特定家電製品



## どうしても 燃やさなければ ならないもの



## どうしても 埋めなければ ならないもの



## トレイ以外の 発泡スチロール



## プラスチック製 容器包装



## プラスチック製 キャップ



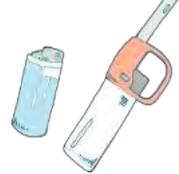
## 透明びん



## 廃食油



## ライター



## 衣類カーテン 毛布



## 一升びん ビールびん



## 割り箸 木竹製品



## 乾電池



## 鏡・水銀 体温計



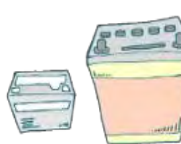
## 金属製 キャップ



## 生ごみ



## 廃バッテリー



## 紙パック (銀)



## 硬い 紙芯



## 雑金属



## 雑誌・雑紙



## 紙おむつ 生理用品 ペットシート



## 紙カップ



## 紙パック(白)



## まだ使える物



## ペットボトル



## 新聞・ チラシ



## 粗大ごみ (塩ビ製品ゴム製品)



## 粗大ごみ (金属製)



## 粗大ごみ (布巾 絨毯カーペット畳)



## 粗大ごみ (木製)



## 茶色びん

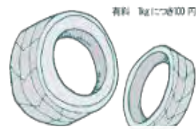


## 電球 蛍光灯





廃タイヤ



アルミ缶



シュレッダーくず



スチール缶



スプレー缶



その他のプラスチック



その他の布類



その他の紙



その他の色びん



陶磁器類



白トレイ



段ボール



特定家電製品  
テレビ 冷蔵庫 洗濯機 エアコン



どうしても  
火気やさなければ  
ならないもの



どうしても  
埋めなければ  
ならないもの



トレイ以外の  
発泡スチロール



プラスチック製  
容器包装



プラスチック製  
キャップ



透明びん



廃食油



ライター



分別数  
43種類

リサイクル率  
約80%

乾電池



木竹製品



銭・水銀  
体温計



金属製  
キャップ



生ごみ



廃バッテリー



紙パック (銀)



硬い紙芯



雑金属



雑誌・雑紙



紙ぶつ  
生理用品  
ペットシート



紙カップ



紙パック (白)



まだ使える物



ペットボトル



新聞・  
チラシ



粗大ごみ  
(塩ビ製品 ゴム製品)  
どうしても  
火気やさなければ  
ならないもの



粗大ごみ  
(金属製)



粗大ごみ  
(布 絨毯 カーペット 畳)



粗大ごみ  
(木製)



茶色びん



電球 蛍光灯





# ゼロ・ウェイストの変遷

## Phase I Transition

## Phase II Transition

- ボランティア団体
- 町内NPO法人
- 上勝町役場（行政）

2003年  
宣言 1

- 町内外事業所
- 世界
- 上勝町役場（行政）

2020  
宣言 2

1974-1997

1998-2020

2020-2030

野焼き時代

ゼロ・ウェイスト時代

全世代の活躍・自治の再編



大寒波により主要産業であったミカンの木が全滅



2億円の産業が新たにできる



Image via prtmes | Transit General Office Inc.

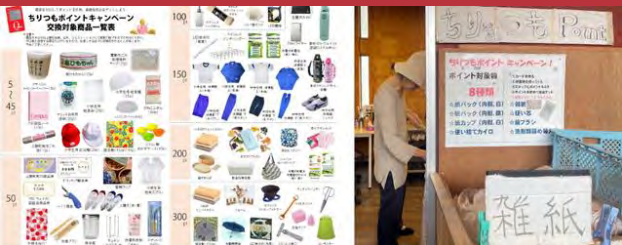


ICPD 30 Global Dialogue in Bangladesh



# ゼロ・ウェイストを目指すことで

## ポイントキャンペーン



資源の種類別にポイント付与  
罰ではなく、信頼と報酬のシステム

## アップサイクル、リユース



衣類・布地のリサイクルショップ  
高齢者が新たな製品を創造  
日用品を循環させるリユースショップ

## 住民の誇りの醸成



廃棄物管理に従事する職員は、地域社会の顔となる存在  
職員は住民にとっての「指導者」として、また住民の声を拾う役割を果たす

## 共通のゴールがうまれる



ゼロ・ウェイストを町民全体で  
共有できる仕組み、イベント実施

## 透明性が高まる



分別による資源の循環と資金の透明性

## 独自の社会規範づくり



互いにチェック、情報交換をして規範  
をつくっていく  
「きれい」とは？

## 即時的なフィードバック



住民に即時にフィードバック、コミュニ  
ケーションができる





# ゼロ・ウェイスト認証制度

The “Zero Waste Accreditation” is to certify local businesses contributing towards the zero waste society. Businesses need to fulfill qualifications of: a) providing trainings for their employees; b) complying with the local segregation & recycling systems; and c) submitting their zero waste goals and followthrough their plans, then reviewed through the 8 categories.



地域の食材を活用し地産地消に努め  
ごみの発生抑制に取り組んでいる  
**By purchasing locally, preventing  
over-packaged products**



食材や資材の調達において  
ごみの発生抑制に取り組んでいる  
**Maximizing returnable & re-use  
options to reduce packaging  
through purchasing**



利用者が食器や容器などの代用品を  
持ち込むことで、ごみの発生抑制に  
繋がる仕組みを導入・周知している  
**Providing “Bring Your Own” option  
for takeaway in bottles or containers**



再利用を通じ、地域内のごみの  
発生抑制・資源循環に取り組んでいる  
**Utilizing unused and/or Re-using  
local resources to contribute to  
the local circular-economy**



おしぼり等の無料サービスにおいて  
ごみの発生抑制に取り組んでいる  
**Using alternatives to avoid  
“single-use” products**



利用者がごみの削減あるいは  
分別に取り組める工夫をしている  
**Encouraging customers to  
participate into zero waste activiti**



生産や流通の過程で通常は  
廃棄されるような食材を活用している  
**Utilizing food that discarded in  
supply-chain as usual**



調理方法の工夫や食材調達の  
工夫などにより、そもそもロスを出さないようにする仕組みがある  
**Established a system to make  
whole use of food to produce no loss**

Zero Waste accredited cafes/restaurants outside  
Kamikatsu - now expanding!



上勝町ゼロ・ウェイストHPより  
<https://zwtk.jp/townoffice>





上勝町ゼロ・ウェイストセンター



# 世界との繋がり



INOW : Your Home In Kamikatsu

## INOW (いのう)

Transformative Learning Program

=体験によって自らを変えることができる学びの機会

INOWでは、ゼロ・ウェイストや田舎の暮らしを理論・実習を通して学び、自己内省を促すためのきっかけを提供する滞在型ラーニングプログラム。



## INOW Guests

アメリカ、カナダ、ヨーロッパ（イギリス、イタリア、オーストリア、ノルウェー、ドイツ...）、韓国、インド、香港、台湾、タイ、マレーシア、シンガポール、オーストラリア、ニュージーランド、ドバイ、アフリカ（マダガスカル、ウガンダ、南アフリカ...）

2020年7月始まり

2020年（5ヶ月）10名  
2021年 40名  
2022年 50名以上  
2023年 130名以上  
2024年（5ヶ月）60名以上  
合計~300人

ゲストの数が「成功」の指標である必要はない。



“ต้องร้องไห้ทีครั้ง ถึงพวกคุณไป KAMIKATSU ได้”  
ทำตาม Purpose ต้องฝึกเจ็บปวด



# A Small Town Attracting Global Attention

タイの起業家ゲストたちの実践





# A Small Town Attracting Global Attention

視察・研修受け入れ実績  
(2024年度)

視察者 INOW  
2,172名 + 152名  
[ 約20ヶ国 ]



上勝町×三菱地所×スペック：  
生ごみの液肥化「reRise」を軸とした循環型まちづくり  
Forbes JAPAN「Xtreprenuer AWARD 2024」受賞



ICPD 2024 in Bangladesh, Dhaka  
No one left behind discussion  
国際開発人口会議にて登壇



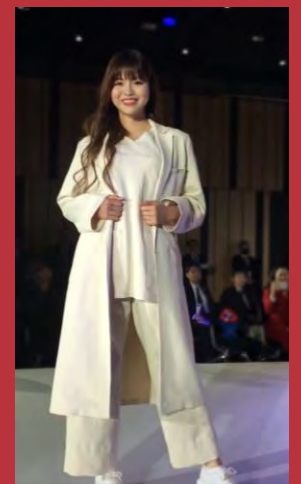
一般社団法人  
小型家電リサイクル協会協力のもと  
子ども向けPC解体WS



TBS主催の「地球を笑顔にする広場2025春」  
ゼロ・ウェイストハブ2025の監修／運営



ナイジェリア万博  
国際交流プログラム訪問団受け入れ



2025年大阪・関西万博にて  
上勝の杉を使った医師用  
ユニフォームが使用



上勝の事例から。

“社会”として課題に取り組むための要素

## つなぐ

関係を編む

異なる立場や価値観のあいだを  
行き来し、翻訳・共感・調整を  
おこなう。単なる中間支援でなく、  
両者の間を行き来して新しい  
秩序を生み出す“動的媒介”。

## ひろげる

新たな関与・活動を生む

媒介によって生まれた関係から  
新しい活動やつながりが生まれ  
る。新しい関わりしろが増え、  
「個人の可能性」×「地域の愛  
着」が循環する。

## いれかえる

主体・価値の更新

関わる層・主体が変わりながら、  
地域が生き続ける。新しい活動が  
古い活動を上書きしながらも、地域  
のDNAは保たれる。「衰退ではなく、  
更新」としての変化。



# つなぐ

異なる立場や価値観のあいだを行き来し、翻訳・共感・調整をおこなう。

- ・ 対立する価値観

(賛成／反対、内発／外発) を橋渡しする。

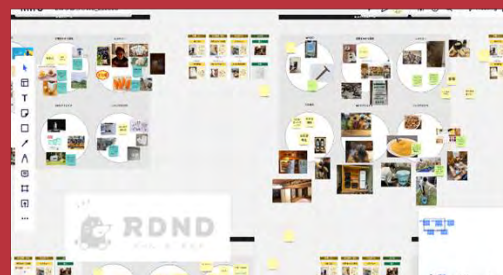
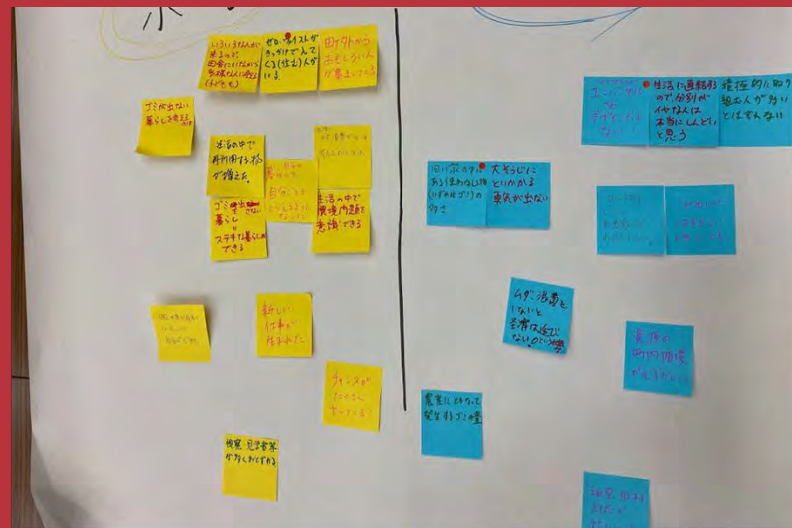
- ・ 上勝町の例

ZW推進員が「行政と生活者」「理念と実感」を媒介。

単なる中間支援でなく、両者の間を行き来して  
新しい秩序を生み出す“動的媒介”として機能。

## ■ 上勝町における「つなぐ」主体

- ・ NPO法人ゼロ・ウェイストアカデミー
- ・ ゼロ・ウェイスト推進協議会
- ・ ゼロ・ウェイスト推進員
- ・ 一般社団法人amu



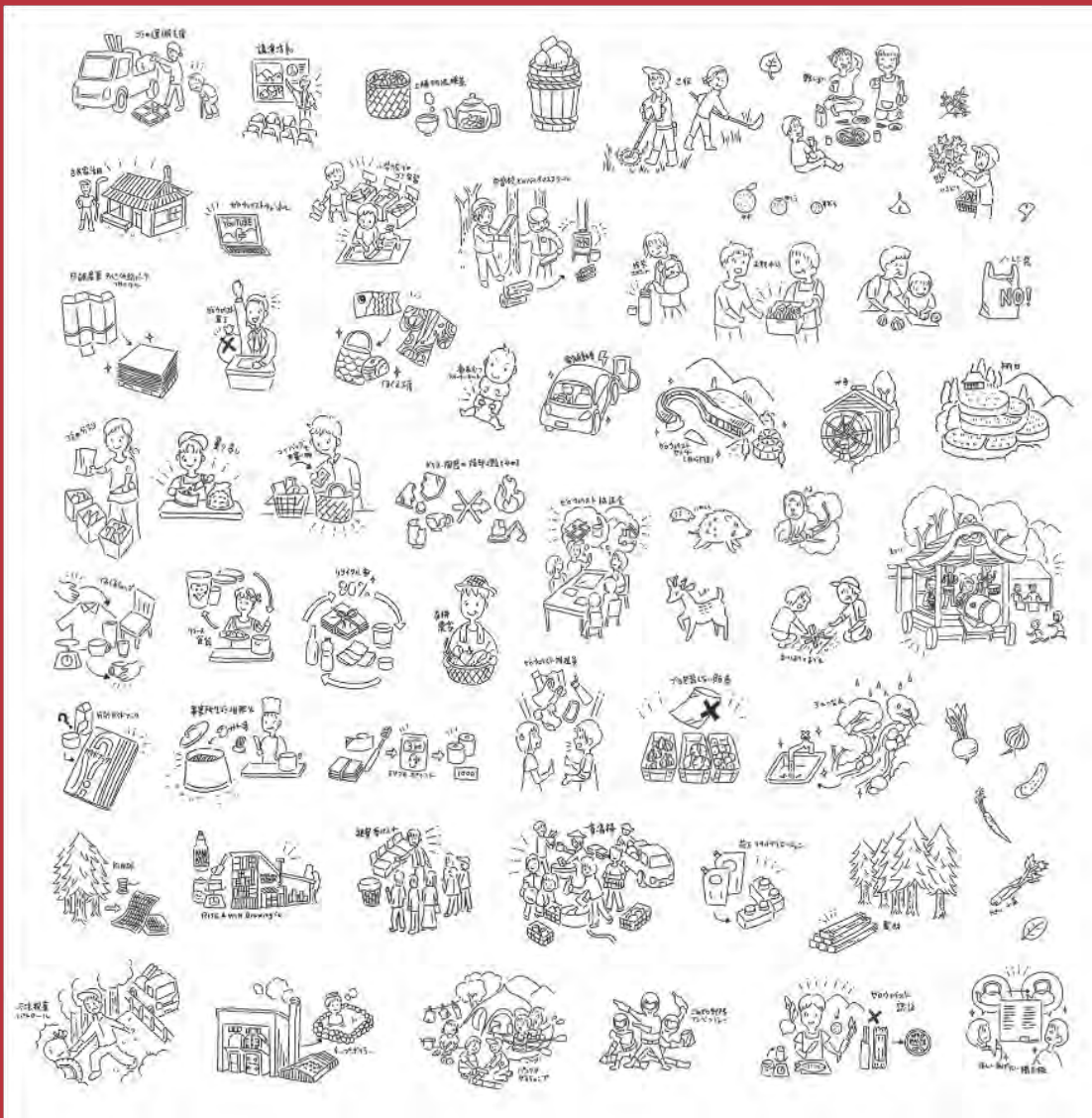


# あなたにとっての、ゼロ・ウェイストとは何ですか？

## 約60種類のアイデア

上勝町における「ゼロ・ウェイスト」は、  
ごみゼロだけを目指す物ではない。

文化や伝統、自然資源など  
人の営みがあるからこそ、ゼロ・ウェイスト  
という手法が生まれた





# ひろげる

媒介によって生まれた関係から新しい活動やつながりが生まれる。

- ・ ZWを通じて自ら動く人が増え、個々が新たな関係・事業を結ぶ。
- ・ INOWのように、地域→世界への接続が生まれる。
- ・ 新しい関わりしろが増え、  
「個人の可能性」×「地域の愛着」が循環する。



## ■ 上勝町における「ひろげる」主体

- ・ 株式会社BIG EYE COMPANY
- ・ 株式会社いろどり
- ・ INOW
- ・ その他町内事業所など





# 上勝町ゼロ・ウェイトロードマップ

## くらし

ゼロ・ウェイストは  
どのように私たちの生活に  
組み込まれ、豊かにしている  
のか

## チャレンジ

現在の課題と今後削減  
したい課題

## 教育

未来のリーダーを育て  
るために

## こうなりたい（私たちが望む未来）

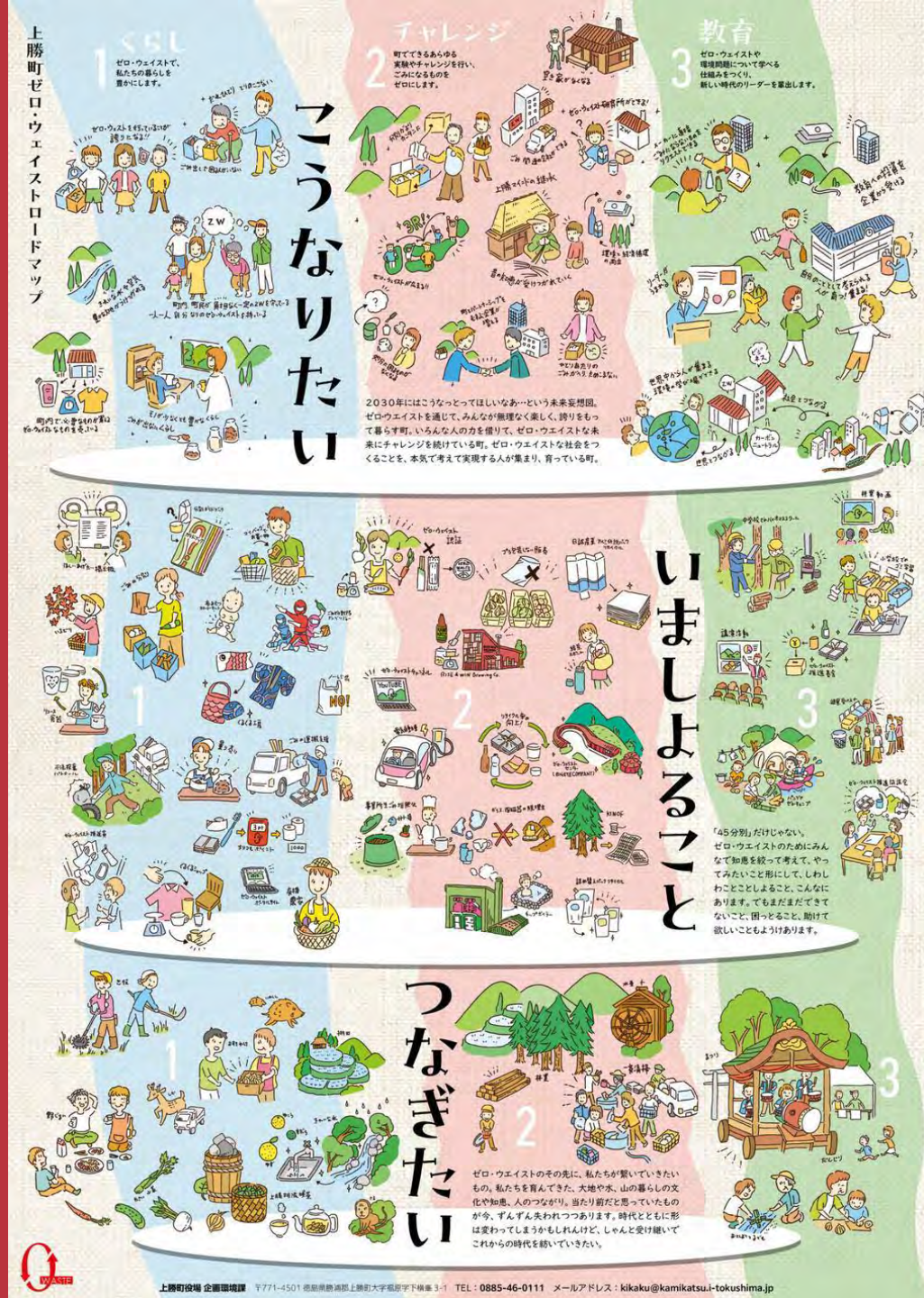
ゼロ・ウェイストで暮らしが「豊か」になること。現状の課題を打開できるように様々なチャレンジを惜しまないこと。未来を考えて行動できる人材を育てること。

## いましよること（現在とりくんでいること）

43種類の徹底したリサイクルシステム。その上で、ごみの発生抑制が実現できるような仕組みづくり。様々な企業や地域との連携と、若い世代への環境教育の実施。

## つなぎたい（文化や伝統にどうつながるか）

文化と知恵は私たちが当然のこととして受け入れてきたものであり、次第に失われつつある。しかし私たちはそれを継承し、未来へと紡いでいきたい。





# いれかえる

関わる層・主体が変わりながら、地域が生き続ける。

- ・主体が変化していくことを恐れず、能動的に投資し、柔軟に受け入れる。
  - ・新しい活動が古い活動を上書きしながらも、地域のDNAは保たれる。
- 「衰退ではなく、更新」としての変化。

■ 上勝町における「いれかえる」主体  
???



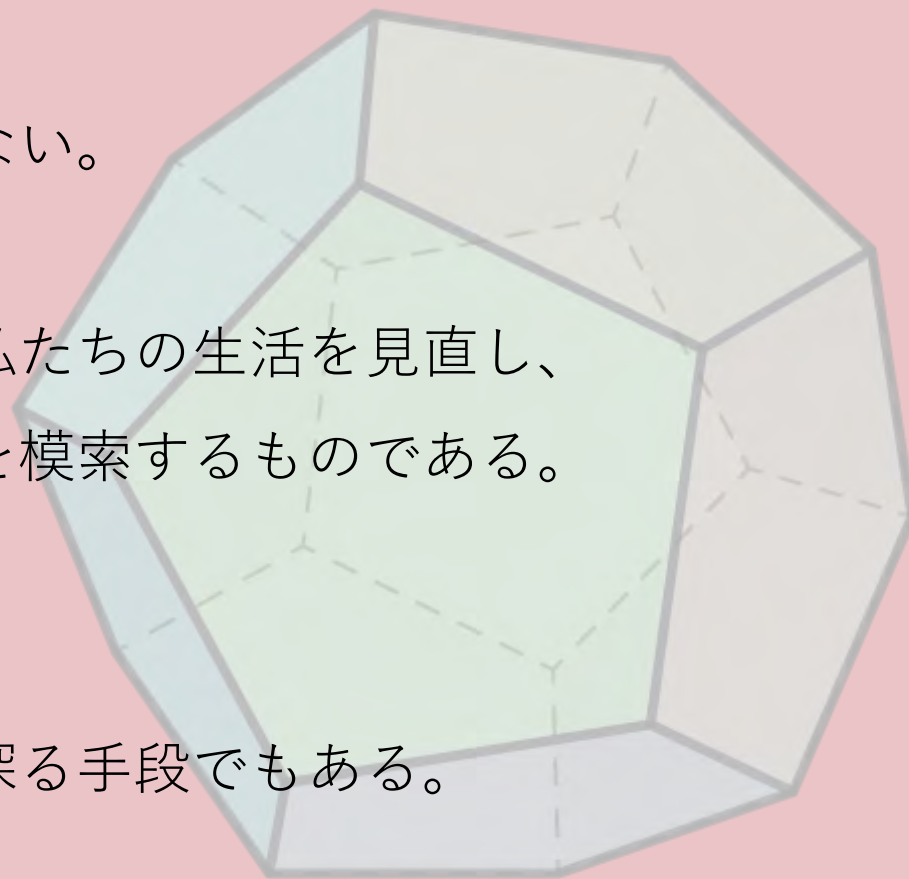


# ゼロ・ウェイストの実践を通して

ゼロ・ウェイストとは、  
単にゴミをゼロにすることだけではない。

自然や地域社会とのつながりの中で私たちの生活を見直し、  
自然環境を含めた持続可能な生き方を模索するものである。

あらゆる世代の価値観を知った上で、  
多角的な視点から根本的な解決策を探る手段でもある。





# それぞれの役割で

上勝の資源を活用する企業と製品



自然資源

法令・条例の制定、予算編成



ZW  
関連  
事業

Zero Waste

行政



自然保護と経済のバランス  
ゼロ・ウェイストに沿った店舗運営

町民

仕組みへの参加（分別など）







つながり、ひろがる社会の仕組み

-徳島県上勝町におけるゼロ・ウェイストの実践例-